

■ 令和2年度 第1回 いきいき西区ささえあいプラン推進委員会

日 時：令和2年8月6日（木）午後2時～

会 場：西区役所健康センター棟1階 105会議室

（司 会）

予定の時間を過ぎましたため、これより令和2年度第1回いきいき西区ささえあいプラン推進委員会を開会いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、西区健康福祉課課長補佐の田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議ですが、欠席される方がいらっしゃいます。コミュニティ中野小屋の大島委員、コミュニティ佐潟の伊藤委員、黒埼南ふれあい協議会の佐々木委員、山田校区ふれあい協議会の松井委員から欠席とのご報告をいただきましたので、お知らせします。なお、後日、会議録公開のために録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。

次第に沿って議事を進めさせていただきます。はじめに、事務局の西区健康福祉課長、渡部よりごあいさついたします。

（渡部健康福祉課長）

皆様、こんにちは。西区健康福祉課長の渡部でございます。本日は、ご多忙の中、いきいき西区ささえあいプラン推進委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。皆様方におかれましては、日頃より地域福祉の推進にご尽力を賜り、大変ありがとうございます。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、これまで、推進委員会を開催することができませんで、第1回がこの時期になってしまいましたことをご容赦いただきたいと思います。

また、7月20日に推進委員の皆様と各校区のコミュニティ協議会の会長様方にお集まりいただきまして、事務局よりスケジュールや地域別計画策定の進め方をご説明させていただきました。新潟医療福祉大学の青木先生からもご講演をいただき、地域福祉計画についてのご理解を深めていただいたものと感じております。

推進委員会は本日第1回目となりますが、これまで推進委員会を開催できなかった期間におきましても、事務局のほうで内容の議論を進めてきております。基本理念や目標の案はお示しさせていただいておりまして、計画の素案も作成準備を進めている状況です。これから、新しい生活様式に基づきまして、感染予防を図りながら策定作業を進めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆様からは、活動の当事者としてのご経験や専門的な知識を生かしてご議論いただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(司 会)

議事に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。お手元にお配りしました資料を順にご説明いたします。本日の次第、A4の1枚です。続いて「いきいき西区ささえあいプラン推進委員会委員名簿」、A4の1枚です。続いて「事務局名簿」、A4の1枚です。続きまして「いきいき西区ささえあいプラン推進委員会委員」任期図、A4カラー横長1枚です。資料1「西区の現状と課題」、カラーのもの1枚です。資料2-1「西区地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念・基本目標」、カラーのもの1枚です。資料2-2「取組みの方針及び施策の展開」、カラーのもの1枚です。資料3「冊子構成について(素案)」、白黒のA4で1枚です。資料4「主な福祉サービス等の相談先一覧」、A3カラー横長のもの1枚です。参考1「コミュニティ協議会別データ」、A4横長の1枚です。参考2「校區別各種データ」、A4縦の1枚です。資料5「地域別計画のフォーマット(案)」、A3横長1枚です。資料6「第2次いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画、ホッチキス止めしてあるA3横長のものです。お配りしたものは以上です。過不足はございませんでしょうか。

また、会議のご案内の際に同封しました「統計データ及びアンケート調査結果の抜粋」を本日お持ちいただくようお願いしておりましたが、もしお持ちでない方がいらっしゃいましたらお申しつけください。よろしいでしょうか。

それでは、委員と事務局の紹介に移ります。このたび、委員のうち7名の方が交代されました。本来であれば自己紹介をしていただきたいところですが、感染予防の観点から、マイクの共有を避けるため、事務局より所属とお名前をお呼びさせていただきます。その場でお立ちいただきたいと思います。渡部課長よりお呼びいたします。

(渡部健康福祉課長)

私からご紹介させていただきます。

まず、当委員会の委員長であります、新潟医療福祉大学の五十嵐紀子先生です。

(五十嵐委員長)

よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

内野・五十嵐まちづくり協議会、原常廣委員です。

(原委員)

よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

西内野コミュニティ協議会、板井光司委員です。

(板井委員)

板井です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

コミュニティ中野小屋、大島静江委員は、今日ご欠席というご連絡が入っております。

コミュニティ佐潟、伊藤いずみ委員も、本日ご欠席という連絡が入っております。

坂井輪中学校区まちづくり協議会、小林みち子委員です。

(小林委員)

小林です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会、細野克明委員です。

(細野委員)

よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

東青山小学校区コミュニティ協議会、貝沢一男委員です。

(貝沢委員)

貝沢です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

五十嵐小学校区コミュニティ協議会、青木美奈子委員です。

(青木委員)

青木です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

真砂小学校区コミュニティ協議会、前川倫子委員です。

(前川委員)

前川です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

青山小学校区コミュニティ協議会、村井良次委員です。

小針小学校区コミュニティ協議会、藤本フミエ委員です。

(藤本委員)

よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

黒埼南小学校区コミュニティ協議会、佐々木奈麻美委員は今日ご欠席という連絡が入って

おります。

大野校区ふれあい協議会、田邊正平委員です。

(田邊委員)

田邊です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

立仏校区ふれあい協議会、鳴海俊明委員は、今こちらに向かっているという連絡が入っております。

山田校区ふれあい協議会、松井健吾委員もご欠席という連絡が入っております。

虹の部屋、小竹美香子委員です。

(小竹委員)

小竹です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

新潟市西区身体障害者福祉協会、佐藤喜代美委員です。

(佐藤委員)

佐藤です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、私ども健康福祉課、事務局の紹介をさせていただきます。

改めまして、健康福祉課長をしております渡部と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

健康福祉課、課長補佐の田中でございます。

(事務局：田中課長補佐)

よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

同じく課長補佐で健康増進係長を兼務しております神田でございます。

(事務局：神田課長補佐)

神田正子でございます。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

保護課の課長補佐、本間でございます。

(事務局：本間課長補佐)

本間と申します。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

健康福祉課に戻ります。地域保健福祉担当の係長、木場でございます。

(事務局：木場係長)

木場です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

地域福祉係長、小林でございます。

(事務局：小林係長)

小林です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

障がい福祉係長の山田です。

(事務局：山田係長)

よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

高齢介護係長の五十嵐でございます。

(事務局：五十嵐係長)

五十嵐です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

児童福祉担当主幹の加藤でございます。

(事務局：加藤主幹)

加藤です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

こども支援担当主幹の渡辺でございます。

(事務局：渡辺主幹)

渡辺です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

地域福祉担当、須貝主査でございます。

(事務局：須貝主査)

須貝です。よろしくお願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

私ども健康福祉課を終わりました、続きまして西区社会福祉協議会の職員紹介をお願いいたします。

(西区社会福祉協議会：江川事務局長)

いつもお世話になっております。西区社会福祉協議会事務局長の江川でございます。

同じく、社会福祉協議会事務局長補佐の鍋谷でございます。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

よろしく申し上げます。

(西区社会福祉協議会：江川事務局長)

社会福祉協議会主査、支え合いのしくみづくり推進員、加野でございます。

(西区社会福祉協議会：加野主査)

よろしく申し上げます。

(西区社会福祉協議会：江川事務局長)

社会福祉協議会主事、コミュニティソーシャルワーカーの佐藤でございます。

(西区社会福祉協議会：佐藤主事)

佐藤です。よろしくお願いたします。

(西区社会福祉協議会：江川事務局長)

社会福祉協議会は以上です。よろしく申し上げます。

(司 会)

続きまして、本日は、交代された委員の方もいらっしゃいますので、委員の任期について、改めて事務局より説明いたします。

(事務局：須貝主査)

西区健康福祉課、須貝です。私からお話させていただきます。

任期の話に入る前に、今回、新たに新規でなられた方については、この会議のご案内の際に、連絡先、口座届けのご提出のお願いを同封させていただいておりました。この会議が終わったあとでも結構ですので、お持ちの方は帰り際に私にお願いたします。

任期についてお話させていただきます。お手元に配布の、ご自身の委員任期が記載されたA4横の資料をご確認ください。

委員の任期は、要綱により、原則3年で最長6年まで就任できるという規定になっており、現在は、令和元年度から令和3年度までの3年間の任期となります。今回、委員を交代した方は、前の委員の残期間となっていたり、これまで就任期間がある方は、令和3年度よりも前に任期が終了される方もいらっしゃいます。基本的に、この3年間で委員の任期はいったん終わり、令和4年度は改選となりますが、通算の在任期間が6年以内であれば再任が可能ということになります。

現在の任期期間を青い矢印で表示し、再任可能期間を黄色の点線矢印で記載しておりますので、ご自身の任期の期間をご確認ください。ご不明な点は会議終了後に個別にお声かけいただきますよう、お願いたします。

(司 会)

それでは、議事に入らせていただきます。

本日は議題が多くなっており、感染予防の観点からも、会議時間の短縮のため、あらかじめ資料を送付したり、委員の皆様にご意見聴取を行いました議題の(1)、(4)、(5)につきましては報告事項とさせていただきます。

それでは、推進委員会開催要綱第4条第2項により、五十嵐委員長に議事進行をお願いいたします。

(五十嵐委員長)

委員長を務めさせていただきます、新潟医療福祉大学の五十嵐紀子と申します。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

いつもですと、いかに人が集うかということを考えてきたのですが、このご時世、集ってはいけない、まったく逆のことをしなければいけない中でも、でも支え合わなければいけないという無理難題が私たちに課せられたことなのではございますけれども、各地域で工夫して、支え合いのしくみ自体は後退することなく進めていただければと思います。

今日は短時間で終わられるように、ご協力をよろしくお願いいたします。

議題(1)に入ります。「次期計画の基本理念及び基本目標について」、事務局からご報告をお願いいたします。

(事務局：小林係長)

西区健康福祉課の小林です。ご説明させていただきます。

区の計画の基本理念や基本目標につきましては、推進委員の皆様から案を作成していただきたいと考えておりましたが、感染予防の観点から推進委員会が開催できない状態となり、事務局側で案を作成いたしました。あらかじめ委員の皆様にご意見を伺いましたところ、特にご意見はございませんでしたことをご報告いたします。

改めて、資料を簡単にご説明させていただきます。お手元の資料1「西区の現状と課題」をご覧ください。事前にお配りしました統計データやアンケート調査結果、また、事務局が日頃から把握している地域の実情より、いくつかの視点に沿って、西区の現状と課題をまとめたものです。

視点につきましては、支え合いや共生社会の視点、団体・組織間のつながり、連携、協働の大切さの視点、人材育成、地域参加の視点、健康や災害時支援の視点、この四つの視点です。

こうした現状と課題をもとに、資料2-1にありますとおり、基本理念、基本目標を策定いたしました。

西区の基本理念は、西区の目指していく地域福祉の姿となり、「にっこりと みんなで創る 支えあい しあわせつなぐ 地域の輪 暮らし健やか いきいき」とさせていただきます。また、基本目標は、この基本理念に基づいた具体的なテーマに即した目標となります。裏面に、先ほどご説明した四つの視点に基づいて設定した目標を記載しております。基本目標1は「誰もが認めあい 助けあえる まちづくり」、基本目標2は「信頼でつながり連携できる まちづくり」、基本目標3は「一人ひとりが 自分らしく参加できる まちづくり」、基本目標4は「健やかに 安心して暮らせる まちづくり」とさせていただきます。

先ほども申し上げましたが、事前にご意見はございませんでしたので、基本理念と基本目標はこちらで確定とさせていただきます。なお、現状と課題や基本目標の内容につきましても、今後、文言を修正する可能性もありますのでご承知おきください。

(五十嵐委員長)

ありがとうございます。報告事項ということですので、大きな問題がなければ次の議題に進みたいと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

議題(2)「西区地域福祉計画の取組みの方針について」、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局：小林係長)

続けてご説明させていただきます。

資料2-2をご覧ください。こちらは、先ほどの基本目標を達成するために、西区と西区社会福祉協議会の計画である地域福祉計画における取組みの方針を記載したものです。これを基に、施策の展開として具体的な取組みと目標値を設定し、次回の推進委員会でお示しする予定です。なお、素案でございますので、文言を修正することもありますのでご承知おきください。

まず、取組み方針ですが、基本目標1の方針は、地域包括ケアシステムの構築、支え合い・助け合いの活動支援、居場所づくりや保育サービスの充実、生活困窮世帯への支援や犯罪、非行防止の地域づくりの啓発をあげております。

次に、基本目標2の方針は、地域でのつながりづくりや、専門職と関係機関との連携、子育て支援のネットワーク強化をあげています。

裏面をご覧ください。

基本目標3の方針は、人材育成や地域活動にかかわりやすいしくみづくり、情報発信の工夫などをあげています。

次に、基本目標4の方針は、健康づくりを進めること、通いの場づくりの支援、避難行動

要支援者の支援計画策定の促進、新しい生活様式に基づく感染症予防対策などをあげています。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。今ほどの事務局からのご説明について、ご意見、ご質問があれば受けたいと思いますが、発言される方は挙手の上、お名前をおっしゃってから発言をお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ないようですので、次に進めたいと思います。

議題（３）「次期計画の冊子構成について」、事務局からお願いいたします。

(事務局：須貝主査)

西区健康福祉課の須貝です。議題（３）について説明させていただきます。

お手元の資料３「冊子構成について」をご覧ください。目次となるページの案となります。

現在の第２次計画では、第１章として新潟市計画の内容、第２章として西区計画の内容を記載しておりましたが、市計画については、別途、計画の冊子を本庁担当課で作成しますし、ほかの区は、第２次計画では区計画のみを掲載していることもありますので、第３次計画では西区計画のみを記載したいと考えております。

第１章から第３章までは計画の共通事項、第４章は西区と西区社会福祉協議会の計画であります西区地域福祉計画について、第５章は校区ごとの計画であります西区地域福祉活動計画の内容を掲載し、裏面になりますが、資料編として計画の策定経過や推進委員会の要綱や委員名簿、用語解説を掲載したいと考えております。

また、四角囲みで資料１や資料２－１と記載しているものについては、本日の資料をこちらのページに掲載するということとなります。なお、文言については今後修正する場合がありますのでご承知おきください。

資料４「主な福祉サービス等の相談先一覧」というＡ３の資料をご覧ください。こちらは、前回２月の推進委員会で、福祉サービスのさまざまな相談先の一覧を掲載してはどうかというご意見を基に作成したものととなります。事務局で検討し、６年間の計画期間のあいだに相談先の掲載内容が変更することも想定され、冊子とは別冊の資料とさせていただきたいと考えております。なお、今回、お手元の一覧は現時点の素案のもので、この相談先も必要ではないかというものがございましたら、事務局までご連絡をお願いいたします。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。今ほどの事務局からの説明に対して、ご意見やご質問等ございますでしょうか。

(村井委員)

青山小学校区の村井と申します。

作成中のものですが、A3の資料4について、障がい者の方は、包括支援センターが一つの窓口になっていますので、そういう意味では、包括支援センターに連絡をとるということになりますけれども、そのほかについては電話する場所が違うのです。これは地域に帰って、どういうケースのときにはここに連絡すればいいかとか、非常に分かりません。そういう意味では、できるだけ窓口一本化を、そこから、役所側としてどこにつながりませぬけれども、そういうスタイルにしてもらわないと、分かりませぬので、よろしくお願い致します。

(五十嵐委員長)

事務局からご回答ありますでしょうか。

(事務局：小林係長)

ご質問、ご意見ありがとうございました。

今ほどのお話は、この一覧に掲載するものを窓口一本化ということでしょうか。

(村井委員)

障がいであれば障がい、子育てであれば何歳以下を……するとか。

(事務局：小林係長)

区としての担当係を載せたりということは可能かと思うのですが、そうした載せ方でよろしいかどうかということも含めまして、事務局で相談させていただきます。

(村井委員)

ぜひ検討してください。

(事務局：小林係長)

ありがとうございました。

(五十嵐委員長)

ここに書いてある内容的なところを見て、目安にもなるかと思しますので、併せてご検討ください。

ほかにいかがでしょうか。

次の議題に移ります。議題(4)「統計データ及びアンケート調査結果の抜粋について」の報告事項です。事務局からお願いいたします。

(事務局：須貝主査)

引き続き、私からご説明させていただきます。

資料は、事前にお配りさせていただいておりました「2統計データ」というカラー刷りの資料をご覧ください。忘れた方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

これは、西区に関する統計データと、福祉総務課が聴取したアンケート調査結果の一部抜粋したものとなります。この内容を冊子に掲載したいと考えております。統計データは、第2次計画の策定時の平成26年と令和2年のデータを比べたもので、西区の現状がうかがえる資料となります。

資料の冒頭に記載のとおり、特に記載がない限りは令和2年3月末現在のデータであり、表中「H26」と記載のデータは平成26年3月末現在、「R2」と記載のデータは令和2年3月末現在の数値となります。

こちらもお時間の関係でひとつひとつ内容をご説明いたしません、大まかにご説明しますと、人口や児童数は平成26年と比べて減少し、高齢者の数は増えており、人口減少、少子高齢化が進んでいます。また、要介護認定者の増加。身体障害者の手帳所持者は減っている一方で、療育手帳や精神障害者の手帳所持者は増加しています。また、生活保護世帯、人数が増加しています。

ページ番号を振っておらず申し訳ございませんが、最初のページから4枚めくっていただくと、タイトルが「コミュニティ協議会エリア別の人口、世帯数、高齢者数」と書かれたページがありますので、そちらをご覧ください。このページは、おもに西区コミュニティ協議会エリア別の高齢化率を出したページです。平成26年度との比較になっておらず申し訳ありませんが、第2次計画に掲載されている同ページの数値と比較した場合、すべての地域で高齢化率が上層しております。

また、こちらのデータの基としたものを参考1「コミュニティ協議会別データ（R2. 3. 31現在）」でつけておりますので、詳しいデータはそちらをご参照ください。

また、参考2「校區別各種データ」を添付させていただきました。こちらは7月20日の意見交換の際、校區別のデータの提供についてご要望がありましたことから作成したものととなります。表の中の食生活改善推進員については西区全体の数値となっておりますが、居住区にかかわらず活動を希望する支部に属し、活動区域も柔軟に対応しているとのことで、校区ごとに分けることが難しい状況であることからこのような記載をしております。今後の地域別計画策定の際の材料としていただければ幸いです。

統計データ資料に戻りまして、うしろから2枚、めくってください。タイトルが「新潟市の地域福祉に関するアンケート調査結果（抜粋）」と書かれたページをご覧ください。

こちらは、福祉総務課が行った、地域における市民の福祉面の実態・要望を把握し、傾向やニーズを分析することにより、地域福祉計画策定の資料を得ることを目的にしたアンケート調査結果です。このアンケート調査結果の全部につきましては、以前、推進委員の皆様にもお配りしておりますが、ここではそのうち四つの設問を抜粋して、それを市全体と西区の

データに分けて掲載いたしました。

設問の1「地域福祉計画・地域福祉活動計画の認知状況」については、知っていると答えた人が25パーセント程度であり、地域福祉計画・地域福祉活動計画の認知がまだまだ進んでいないことが分かります。事務局としましても周知を図ってまいります。委員の皆様からも地域での周知、啓発にお力添えいただきますよう、お願いいたします。

次のページは悩みや不安なことの項目で、最多は「老後のこと」、続いて「健康のこと」「経済的なこと」となっています。

ページを1枚おめくりください。

「(2) 家族や親せき以外の相談先について」ですが、最も多かったのは「友人・知人」、続いて「職場の上司、同僚」「区役所」「地域包括支援センター」となりました。前回よりも地域包括支援センターがより身近な存在となったことをあらわすものと思います。また、「誰にも相談しない」と「わからない」を合わせた回答者の割合が、平成26年は5パーセント程度だったのに対し、今回は17パーセント程度になっており、相談しない、できないという人が増えたことが分かりました。

そのほかの設問については、平成26年とほとんど違いはなく、また、市全体と西区で大きく割合の違う回答もありませんでした。

「統計データ及びアンケート調査結果の抜粋について」の説明は以上です。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。報告事項とのことですので、次の議題に進めさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。ありがとうございます。

議題(5)「地域別フォーマット(案)について」、事務局からご説明をお願いいたします。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

西区社会福祉協議会、鍋谷から説明させていただきます。

資料5のA3サイズのカラーのものをご覧ください。以前にも確認していただいておりますが、事務局で検討しました第3次地域別計画のレイアウト案です。

まずタイトルですが、前回の第2次計画のときは、こちらが「コミ協名」が入っておりました。地域別計画は、コミュニティ協議会を中心に、自治会や福祉施設などを含めた地域の民間計画ですので、第3次についてはここを〇〇小学校区、もしくは〇〇中学校というように学校区を入れます。その次に地域の特色が入りまして、位置を示す地図が入ります。この地区の良いところ。この地区の良くしたいところ。現在行われている主な取組み。右側にいきまして、目標・目指す姿。こんなまちにしたいというスローガンのものが入ります。この下にいくつかの目標とそのための取組み事項が入るのですが、このレイアウト案では①か

ら③まで三つになっていますが、ここは地域によって二つでも構いませんし、四つになるところもあるかもしれません。もしここでスペースがありましたら、一番下に取り組みをしている活動写真などを掲載できればいいなと考えております。

また、以前お示したものに追加した事項として、〇〇小学校区のタイトルの下をご覧ください。校区の人口、世帯数、14歳以下の人口割合、高齢化率を追加しました。こちらは、先ほどの統計データの中にもコミュニティ協議会エリアごとの人口と世帯数と高齢化率などが掲載されておりましたが、冊子ができたあとに、この2ページだけを印刷して地域で活用するようなことも考えられますので、この4項目は、校区のデータとして掲載してはどうかという考えで追加させていただいた事項です。

地域別計画のレイアウトについては、以上です。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。こちらも報告事項ですので、特に大きな問題がなければ次に進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

議題(6)「第2次計画の地域別計画のふりかえりシートについて」、ご説明をお願いします。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

続いて説明させていただきます。資料6、A3サイズでホッチキスで止めてあるものをご覧ください。

第2次計画の5年間分をふりかえるシートとして、各コミュニティ協議会の皆さんから、推進委員の方を中心にまとめていただいたものです。このたび、新型コロナウイルスの影響でなかなか集まることができませんでしたので、このふりかえりシートをまとめてくださった方、大変難儀をされたと思います。ご協力、ありがとうございました。ほかの地域がどのような取り組みをしているのか、今後の方針など、参考になると思いますので、量が多いので、詳細につきましてはあとで目をとおしていただければと思います。

各地域の推進委員の皆さんから、少しご報告いただきたいと思います。申し訳ありませんが、時間の関係で1地域2分以内でお願いしたいと思うのですが、とても2分では報告できないと思いますので、このシートの中から、特に最後の項目で、課題と展望のところで、「第3次計画へ」と書いてありますが、このあと、第3次計画を策定するにあたり、やはりここは今後も取り組んでいきたいところですか、ここは課題に感じているので話し合っていきたいというようなポイントがありましたら、そこを中心にお伝えいただきたいと思います。

内野・五十嵐まちづくり協議会から順番にお願いいたします。

(原委員)

内野・五十嵐まちづくり協議会です。簡単に説明いたします。

基本目標1の「私たちが支えあい、助けあう地域づくり」ということで、具体的な取組みという形は、ここに書いてあるように、載せられないものも多々ありましたけれども、まちづくりセンターが何年前前にできて、そこをだいたい活用するような形が年々増えてきたということがありますので、そのまちづくりセンターを活用して、いろいろなイベントや行事、どのようなところを盛りだくさんに組んで、マンネリ化しないような形で取り組んでいきたいと思っています。

それと、本目標2「安心・安全に暮らせる地域づくり」の部分ですが、いろいろとあるのですけれども、今、高齢化が進んでいて、いろいろな部分があるので、その辺をどのようにやっていくかということが課題だと思いますので、そこを重点的に今後の中に入れていけばいいのではないかと考えています。

多々、どこもそうですけれども、高齢化が進んでいるので、その辺をいかにクリアしていくかということが問題ではないかと考えています。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

ありがとうございました。続いて、西内野コミュニティ協議会、お願いいたします。

(板井委員)

西内野コミュニティ協議会の板井と申します。今回初めて推進委員になりましたので、このまとめはしていませんでした。この取りまとめに関しては、代表者の方にお話してまとめをお願いしていましたので、重要なところだけ抜粋してご報告いたします。

西内野コミュニティ協議会は、子どもから大人まで仲が良く、幼児でもたくさん出てくるコミュニティです。住民が多く参加できる行事や活動を行って、交流と親睦を推進しております。その中身としましては、西内野小学校のなかよし会を中心として、あいさつ運動が盛んです。コミュニティ活動として、盆踊り大会、餅つき大会、これは非常に活発で、他のコミュニティ協議会からうらやましがられております。盆踊り大会は1,500名ほどの住民の方、お父さん、お母さん、高齢者から小さい方まで出席していただいて、すごい盛り上がりで、子どもたちは非常に楽しみにしております。餅つき大会も西内野小学校の体育館を借りまして、700名ほどのお父さん、お母さん方に来ていただいて、非常に高齢者と子どもたちの交流が活発です。それに際して、餅をつくので、つき手、返し手を入れると100名ほどボランティアをつのって、高齢者は餅をつくのが大変でございまして、若い方から積極的に出ていただいて非常に活発な行事を行っております。この盆踊り大会と餅つき大会は、今後の第3次についても、これは非常によいイベントですので、継続してやっていこうと思っています。

安心・安全に暮らせる地域づくりということで、課題と展望（第3次計画へ）に組み込みたいと思っておりますのは、西内野小学校のセーフティスタッフ、十数名おりますけれども、非常に熱心で、朝は毎日子どもの見守り活動、西内野小学校は約700名の子どもが生活しておりますので、その角、角に立って、子どもの安全を考えて、見守り活動をしております。

地域教育コーディネーターとの連携ということですが、西内野コミュニティ協議会はボランティア活動が非常に活発でございまして、今までの累積で3,000名とか5,000名とかのボランティア、延べの数ですが、出席していただいております。その中で一つ、地域教育コーディネーターがあります。これは、1年に、夏と冬に、中学校の生徒と一緒に学習サポート、特に数学を中心に勉強をさせております。勉強された方がほとんど全員志望校に入学ということで、非常に活発な学習サポートを行っております。

以上です。どうもありがとうございました。よろしく申し上げます。

（西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐）

ありがとうございました。続いてコミュニティ中野小屋、コミュニティ佐潟と続きますが、今日、委員の方がご欠席ですので、詳細はあとでお読みください。

坂井輪中学校区まちづくり協議会、お願いいたします。

（小林委員）

坂井輪中学校区まちづくり協議会の小林と申します。よろしく申し上げます。

子どもはすごく大きな所帯でありまして、なかなかまとまるのが大変なのですけれども、特に今年度から新しいつばさ小学校が増えまして、小学校が3区、そこをまとめて中学校が1区で、何をすることも、全部、各学校の特色が出るのですけれども、そこをまとめながらやっています。

一番自慢できるのが、この「さかい輪ふれあい収集事業」として、チームさかいわ、チームもぐらの2チームでごみ収集を2年前から始めております。利用者が年々増加しております、毎年、各チームで4、5名の増加がされております。だんだん高齢化が進んでおりますので、すごく皆様に喜ばれております。

2番の、防犯対策としまして、小学校と中学校で昨年度も防災訓練を行いました。今年度はなかなか新型コロナウイルスの関係で計画がまだはっきりしていないのですけれども、第3次に向けては、これもすごくいろいろ防災部で検討してやっておりますので、きたる、もしかして起こるかもしれない災害に対して、みんなで取り組んでいきたいと思っております。

スポーツ関係なのですが、今年度はずっとスポーツができなかったのですが、隔月で健康教室を、文化・スポーツ部でやっております。今年度は、まず8月31日に1回、9月11日に1回と、新しい生活様式が始まります。これも第3次に向けて確立させて、高

齢化された皆さんが健康で毎日楽しく過ごせるようにやっていきたいと思っております。

最後なのですけれども、三者合同研修会といって、すごく長い間やっているのですけれども、友愛訪問員さんと民生児童委員、自治会長とで毎年会議を行っております。友愛訪問員さんも自治会長も毎年替わることが多いので、同じような課題でもそれぞれ取り方が違って、毎回いろいろな情報が出てきます。今年度は、第3次に向けては、昨年11月2日に坂井輪地区社会福祉協議会を立ち上げましたので、コミュニティ協議会と坂井輪地区社会福祉協議会とも連携しながら、いろいろな行事に向かっていきたいと思っております。早速7月20日に第1回目の会議が終わったあと、1週間後に社会福祉協議会をお迎えして、アンケートやこの資料づくりをして、ただいま進行中ですので、どのようなものになるか楽しみです。

以上です。ありがとうございます。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

ありがとうございました。続いて、坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会、お願いいたします。

(細野委員)

坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会でございます。

5年間の振り返りで、淡々と申し上げたいところですが、なかなか実績がそこまでいかなくて、昨年、一昨年くらいからメンバーに加わったところなので、なかなか、もっともらしいことが言えないのですが、この2年間で、加野さんとか鍋谷さんとか、小林係長、木場係長、いろいろお話を伺ったり、先日は包括支援センターの紹介で民間の介護施設の方と座談会のようなことをやりましたけれども、その中で、今感じているのは、今までまちづくり協議会は、やはり自治会とか民生委員とか、いろいろな協議会とほぼ同列の扱いで、単独で打ち上げ花火的にやっていたということがあって、やはりそれを組織的に引っ張っていくような組織にしてまとまっていかないと、これからは成り立っていないのではないかという思いが強くなりますので、変な言い方ですけれども、推進委員として真面目に参加させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

ありがとうございました。続いて、東青山小学校区コミュニティ協議会、お願いいたします。

(貝沢委員)

東青山小学校区コミュニティ協議会、貝沢です。よろしくお願いいたします。

基本目標1「私たちが支えあい、助けあう地域づくり」ということで、行動目標で、実は新型コロナウイルスの影響で、我々コミュニティ協議会とかいろいろ、民生委員もそうなの

ですけれども、以前はイオンコミュニティ広場を非常に活用していたのですけれども、なかなか思うように集会ができなくなったのです。ここに書いてあるとおり、集会所づくりの促進が、いかに、今回の新型コロナウイルスの影響で、なかなか自由に集会ができないとか、そういう課題がすごく見えてきました。今まで自由に使っていたところが使われなくなっていまして、非常に新型コロナウイルスの影響が大きいと思っています。

基本目標2「安心・安全に暮らせる地域づくり」ということで、何年か前に小学生が事故にあいましたね、全国的に有名になった話です。安全のために、警察と一緒に、防犯で、いろいろ、どうしたら防げるか。例えば環境美化をして花に水をやったりして、不審な人がいたら報告したりとか、いろいろなことを計画しているのですけれども、これは道半ば。それから、うちはマンションなどが多くて、便利なのですけれども、なかなか、我々、入っていくことが難しいようなところがあって、セキュリティの問題で、逆にそういう問題があるかと思っています。マンションがたくさんあると、なかなか入っていけないところがありまして、そういう問題があると考えています。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

ありがとうございました。続いて、五十嵐小学校区コミュニティ協議会、お願いいたします。

(青木委員)

よろしく申し上げます。五十嵐小学校区コミュニティ協議会の青木と申します。

私たちのテーマで、「明るく健康的で安心安全なみんなの住みたいまち」ということで、前任者が詳細に記載してくれました。

読んでいただければと思いますけれども、特にこの中では、基本目標1の助けあう地域づくりの中で、特色的なところを申しますと、空き地の整備に取り組んで、そこで野菜を作って収穫祭などをしたということで、行事も住民が喜んでくださったと聞いておりますし、こういうことで、また農業をとおして知識や技術の活用などもできたということで、よかったという声を聞いております。こういうところには男性の参加が多く必要ですし、男性の方が出てきてくださらないところが多いという話も聞いておりますので、そういう意味では、こういう組織づくりもこれからますますしていきたいと思っています。

このほか、あいさつ運動とか見守り隊の活動など、どちらの地域でも一緒に、これは本当にずっと続けていくべきものだと思います。

もう一つですけれども、寺尾中央公園です。五十嵐小学校区にあります。一番大きな公園です。この活用方法としましては、いろいろ議論がありまして、あれだけ素晴らしい環境があるのですけれども、やはり事故が起きたりすると一気に遊具が閉められる。それは当然

だとは思いますが、そういうことがあったり、ボール投げをしたり、サッカーボールを蹴ったりすることが、なかなかうまくできなくなっている。安全、安全で、子どもさんたちの育ち方はどうなのだろう、ボールを遠くに投げられなくなってしまう。そして私たちのところはとても道路も狭いところなので、そういうところでボールを投げるとまたご近所からいろいろクレームがきたりということで、自転車の乗り方などもどこで教えてほしいのだろうかということで、例えばこの中央公園を使って、時間を区切って、そういうことができる、自転車に乗ったりボール投げをしたりというように、使えるべきところは上手に使って、お子さんの健全育成を図りたいと思っております。それを第3次につなげていけたらいいと思っています。

最後ですけれども、私たちの子育てサークルが18年目に入りましたけれども、今年1年間は中止を決めました。当然と言えば当然ですけれども、逆に、私たちはひまわりクラブともつながっているのですけれども、あちらは本当に激務ということで、先日ごあいさつに行ってみましたが、何かできることがないかと思いつつも、やはりこの現状厳しいところ、いろいろ複雑な思いでジレンマを抱えて帰ってまいりました。こういうことも含めて、これから第3次に向かっていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

ありがとうございました。続いて、真砂小学校区コミュニティ協議会、お願いいたします。
(前川委員)

真砂小学校区コミュニティ協議会では、コミュニティ協議会全体で取り組むもの、各自治会で取り組んでもらうもの、一緒に取り組むものなどを考えながら第2次をやってまいりました。ただ、コミュニティ協議会の役員、各自治会の自治会長などが、ものすごく替わりが早くて、1年で替わる場所もあるし、2か月で替わる場所もあったりするものですから、なかなか続いていかないというか、認識していただけないところが多くて、だんだん尻つぼみになってきたという感じもありました。

最後、まとめながら感じたことは、一つ、何でも、各自治会でやることでは、拠点があるところはよくやっているという感じを持ちました。例えば地域の茶の間を持っているところは、いろいろなことに、一生懸命取り組んでいただいていますし、そういうところがないところ、私たちコミュニティ協議会自体もコミュニティハウスのような拠点がありませんから、そういうところをお貸しすることもできないし、そういう拠点がありません自治会であまりやっていないというような感じを持ちました。少しずつ増えてはきているのですけれども、地域の茶の間が各自治会にできるようになったらいいなという思いを持っております。

もう一つ、細かいことなのですが、民生委員の担当区域が、各自治会の区域と一緒に

にならないところがすごく多くて、一人の民生委員が五つの自治会を少しずつ持っているというようなところがあったりしますので、なかなか自治会と民生委員が一緒になってやるという仕事ができないような感じがします。その辺、何とかならないかと思っております。

第3次、頑張ってやりたいと思います。よろしく申し上げます。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

ありがとうございました。続いて、青山小学校区コミュニティ協議会、お願いいたします。

(村井委員)

青山小学校区コミュニティ協議会の村井です。ここに記載しているように、たくさんやっております。浦山地区と有明地区があるのですが、コミュニティ協議会ができる前には連合会というものが、同時期もあったようですけれども、私どもは、連合会を残しているのです。そのうえでコミュニティ協議会を作っているというスタイルでやっております。

もう一つが、浦山地区にはコミュニティハウスがあるのですが、有明地区には福祉会館がある。併せて福祉タウンという施設がありまして、そのほかに児童センターとか、地域にいろいろ、一緒にやっていくところもありまして、いろいろなところがいろいろなところと協力しながらやっているという状況があります。そういう意味では、恵まれている地域だと思っております。

問題点としては、ここにも記載してありますけれども、上から3番目に①、②、③とありますけれども、要援護者の増加傾向、要援護支援者は減少、全世帯が高齢化している。一人暮らしの増加と施設入所者の増加。高齢者が高齢者を見守る老々見回り活動の増加ということで、地域的には、高齢化がより進化している。65歳以上が高齢者と言われてはいますが、この表にもあるように、青山小学校地域は、75歳以上の高齢者とか、一人暮らしの高齢者とか、他の地域を抜いて1位を堅持しているわけですが、ただ、子どもたちは増えているのです。やはりそれは、児童センターがあったり、いろいろなところがありますので、子育てがしやすいと言いますか、共稼ぎがしやすい地域であるということ間違いありません。幼稚園も子ども園もあります。子どもたちは増えておりまして、青山小学校の子どもたちも増えております。一方、高齢化は進んでいるということです。

それで、たくさんやっているのですが、では次の6年間、これプラス何かできるのかといったときに、できる部分もあるかもしれませんが、多くは、少し尻すぼみになっているのではないかと、高齢化と共にということなのです。ただ、問題はありますから、そうすると、どうやってそれをするかといったときには、申し訳ないですが公的機関と連携を密にやるしかないというイメージをしております。80歳以上の人に、ほとんどのところに、何かしてくれと言うところはできませんので、助け合いをしましょうという掛け

声はかけますけれども、現実には無理ですので、そういうところも含めてどうするのかという問題がきています。以上です。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

ありがとうございました。続いて、小針小学校区コミュニティ協議会、お願いいたします。

(藤本委員)

小針小学校区コミュニティ協議会です。協議会としては、「元気なあいさつ」で安心安全なまちづくりということでやってきました。なにせ小針小学校区は、民生委員が何人が替わっているのです。多分、前の人も1年しかやっていなかったようで、少し丸投げされたような形です。

ここで読み上げていきます。まとまらないかもしれませんが、目で追っていただくと分かるのですけれども、課題と展望というところだと、第3次計画につながるようなことになると、若い人の挨拶運動の推進とか、空き家の防犯防災の低下、登下校時の挨拶の推進。これについては、途中から入ったと思うのですけれども、先ほども言われた方がいらっしゃいましたが、越後線で痛ましい事故がありましたので、コミュニティ協議会と、支え合いプランとがイコールになっているかもしれませんが、登下校の子どもたちの見守り、空き家対策、そういうところに力を入れていたと思います。コミュニティ協議会としてもそうですし、民生委員でもそれが課題になっていましたので、この辺がイコールになっているかと思うのですけれども、これからのことに対しては、やはり後継者がいないということ。若い人たちが少ない。今、だいたい65歳くらいまでが現役で働いておられますので、何か合わせてやるということがなかなか難しい状態なのです。どこのコミュニティさんもそうだと思いますが、やはり仕事をするのは70歳からというようなことで自覚しておいてもらえれば、これからも人材育成はできるかと思うのですけれども、あとはやはり、コミュニティ協議会としては防災防犯、これにすごく力を入れています。何回かディスカッションしまして、マップも作りまして、そういうことも兼ねて、これから第3次に向けて何をやっていけるのか、持っているものと切り捨てるものを区別していかないとものごとで混乱してくるのです。子どもをやったのだけれども、同じことをやっているというのではなくて、残すものと切り捨てるもの。そのように考えていかないとものごとをやりにくくなっていくかと、私自身は思っているのですが、その辺は皆さん十人十色でいろいろ形の意見があると思うのですけれども、第3次に向けて、そういう形で取り組んでみて、6年間やっていけるかなというような考えを持っていますけれども、それは分かりませんが、頑張っていきたいと思えます。よろしくをお願いします。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

ありがとうございました。次が黒埼南ふれあい協議会ですが、今日、委員の方がご欠席です。あとでお読みいただければと思います。

大野校区ふれあい協議会、お願いいたします。

(田邊委員)

大野校区ふれあい協議会の田邊です。私どもの校区は、地域性でいうと、大野の町、小学校です、商店街を含むまちの方たちと、金巻地区と、それぞれ連合会組織があります。ふれ協の行事そのものは、基本的には各自治会が主体となったいろいろな地域のまちづくりなどを進めている体制の中で、大野連合とか金巻連合、鳥原という形になりますと、単独の自治会も多いところがあって、それぞれ、事業の組み立て方がみんな違うということがあって、連合組織で大まかな行事などをやってくれるところと、単独自治会ですべてを、子育てから老人対策、そういったものも考えてやっていかなければだめな地域もありまして、コミュニティ協議会自体がどういう形でそれらをまとめていくかということが非常に難しい部分があります。それから、皆さんのところもそうだと思うのですが、この基本目標の中でいろいろな事業なども、そういった事情で、何とか事業を進めていける連合組織もあれば、自治会でも担い手不足のためにどんどん行事が減らされているというようなこともあります。一方で、小さい自治会からすれば、お茶の間のサロン、増設などはどんどんできていて、このご時世で、家の中に呼んで集まるようなお茶会ができなくなってきているので、こういったサロンの場所ができることによって居場所づくりができてきているというような部分も見えてきています。

それから、安心安全の面なのですが、なかなか私ども大野校区は、まちと農地が多い部分を持っています。そういった中で、安心安全の中で、例えば防犯対策や子どもたちの安心の見守りに対して、あまりにも、地域によってものすごく偏りがある。それらを校区全体で、例えば防犯カメラの設置などを考えられればいいのですが、予算のある自治会はないので、今のところは各自治会任せになっているようなところがありまして、総合的な防犯対策というか、学校と警察と連携した組織づくりも今後は必要になってくるのではないかと考えています。

それから、健康づくりなどについても、先ほど説明したように、各地域で、お年寄りになると行動半径が狭くなるので、やはり各地域でサポートができる事業を進めていく必要があるのではないかと考えています。

ネットワークづくりについては、今のところ、先ほど皆さんからも同じようなお話をいただきましたが、例えば老人クラブ、民生委員、そういったそれぞれが、まだまだ単独、縦割りになっていて、横の連携がうまくいっていないので、この辺をコミュニティ協議会自体が

もう少し横の連携を強めていくことが今後必要になってくるのではないかと考えております。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

ありがとうございました。立仏校区ふれあい協議会と山田校区ふれあい協議会については、あとでお読みいただければと思います。

皆さん、短時間でのご報告をありがとうございました。この各地域のふりかえりシートについては、今後の地区懇談会の際にも、該当の地域ページを私たちのほうで印刷して持参しますので、計画策定の際の参考にしていただきたいと思いますと考えております。

また、7月20日にお願いしました地区懇談会の意向シート、水色の紙に印刷したのですが、既に何名かの提出があるのですけれども、本日が締め切りとなっておりますので、今後の意向について担当者にご相談いただきたいと思います。

先ほど小林委員や細野委員からもご紹介がありましたけれども、多くのコミュニティ協議会で打ち合わせ、検討が始まっております。私たちが相談を受けたところでも、役員の方が集まって相談しているところですか、事前アンケートの内容を変えて考えてみようと考えているところもありますし、地元の福祉施設の皆さんを集めていただき、情報交換をしているところなど、さまざまな取組みが進んでおります。

地区懇談会につきましては、一番早いところで8月27日からスタートすると聞いております。

以上、報告でした。今後の地域別計画の策定について、どうぞよろしく願いいたします。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。ただいま皆さんからいただきました各地域からの報告について、もう少し聞いてみたいことや、事務局からのご説明について、何かご質問やご意見がある方がいらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。特にございませんでしょうか。

ないようでしたら、本日の議題は以上となります。円滑な議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。

(司 会)

五十嵐委員長、スムーズな議事進行をありがとうございました。

最後に事務連絡です。社会福祉協議会から。

(西区社会福祉協議会：加野主査)

この地域福祉計画・地域福祉活動計画、西区ささえあいプランには直接関係ないのですが、皆さんのお手元に「支え合いの大切さを広める標語募集」というチラシがいつているかと思っております。これは、西区自治協議会で、昨年、どうやったら支え合い、助け合っ

ていくことの大切さを住民の人たちに一人一人考えてもらうことができるだろうかという検討の中で、それでは標語を考える過程をつうじて、支え合いとはどのようなものか、自分ができる助け合いとは何かと考えてもらうような機会を作ろうということで、この標語募集に至りました。小学校には全児童分、中学校には2、3枚、子どもたちにもこのチラシがっております。皆さんにもお渡ししましたので、もし皆さんそれぞれで考えていただきまして、いい標語を思いつきましたらぜひ応募していただければと思いますし、地域の集まりの中などで、こういうことに興味がありそうな、得意そうな方がいらっしゃいましたら、こういうことをやっているということでお声がけいただければと思います。よろしく願いいたします。

(司 会)

ご質問でしょうか。

(村井委員)

ここに集まっている皆さん方に直接関係があるかどうか分かりませんが、災害に関連しまして、今、避難所にあまり行かないで、実家とか親類とか近所とかに、そういう分散避難をお願いしますということがテレビ等で報道されていますけれども、現実、新型コロナウイルス問題があるとそういうことになると思いますけれども、親類とか近所と言われても、ある人もいないかもしれませんけれども、そんなにはないと思います、この辺は推測ですけれども。そうすると自宅が一番多くなるわけなのですけれども、安心安全を考えて勧めているのだと思いますけれども、ぜひ、社会福祉協議会とか、子どもさんとか高齢者とか、かかわっているところの話し合いなどに入って、いい方向にまとめてもらうといいのではないかと思います。

(西区社会福祉協議会：鍋谷事務局長補佐)

ご意見ありがとうございます。新型コロナウイルスの関係で、避難所が密になってしまうといけませんので、1メートル、2メートルの間隔を取って避難所の体育館でもやらなければいけないというガイドラインが出ておまして、私が聞いているのは、小針小学校と坂井輪小学校で、関係者で訓練を、どのくらいの人数が入るのかとか、1、2メートルを空けると何世帯が果たして入れるのかというような検討がされています。区役所も、私たちが呼んでいただいて、坂井輪小学校にも行ってきたのですけれども、やはり体育館では、本当に人数が入らないので、もちろん、全然、ご自宅で避難して危険な方もいらっしゃると思うので、避難所に来ていただくことは構わないと思うのですけれども、体育館だけでは収まらない場合については、各クラスも開放していただいて、もし宿泊することとなれば、夜は学校はやっていませんので、小学校の教室なども開放するような形で教頭先生も考えていらっしゃ

いましたし、ご自宅で上に逃げられる方はそれでもいいのですが、海の近くですとか1階しかない平屋のお宅もありますので、必要であれば避難所にと私たちは考えております。

(西区社会福祉協議会：江川事務局長)

在宅避難の、だれがどこに避難しているかといったところの確認ですとかにつきましては、それぞれの自治会さん、民生委員さんですとかいろいろな方とかかわりながら、おそらくされると思いますけれども、そういった、自宅でも、避難訓練は避難所まで行くだけが避難訓練ではないと思いますので、在宅避難者の安否確認ですとか、そういうような訓練方法ですとか、協議、検討会なども、今回、このプラン、計画に絡めてではないですけれども、安心安全にかかわる社会福祉協議会、縦割りではなくて、やはり横のネットワークなど、風とおしをよくした形で、私ども社会福祉協議会もかかわってまいりたいと思いますので、ぜひ、コミュニティ協議会さん、自治会からのお声がけいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(村井委員)

私が言っているのは、指導機関としての、社会福祉協議会とか役所のお務めを果たしてもらいたい。

(西区社会福祉協議会：江川事務局長)

分かりました。ありがとうございました。

(司 会)

市としましても、避難所、新型コロナウイルスの影響で、今までよりもソーシャルディスタンスを取って避難しなくてはならないということですので、従来の避難所に加えて、補助避難所というところも、より多くの方に来ていただけるような補助避難所を開設するということを検討しております。まだまだ検討や準備が必要ですので、すぐ皆様にご利用いただくというところまでは至っていないかもしれませんが、今後も検討を進めてまいりますので、どうぞご理解いただきたいと思います。

ほかにご意見など、ありますでしょうか。

連絡を進めさせていただきます。2点ご連絡です。1点目は次回の会議なのですけれども、11月上旬ころに実施する予定で、後日ご案内させていただきます。

2点目のご連絡です。本会議の議事録を公開するにあたり、後日、内容確認のご連絡をさせていただきますので、お手数ですがご協力をお願いいたします。

これにて第1回の推進委員会を終了いたします。長時間にわたり、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

